

国際標準化教育研究会

2007-09, 2010-09rev1, 2013-07rev2, 2015-1rev3

1. 研究会名称

国際標準化教育研究会

2. 背景

WTO/TBT 協定(国家規格への国際規格の採用の義務付け)以降, 国際規格(ISO, IEC, ITU)が各国の規格として採用されることになり, それまで各国の仕様に迅速に対応する技術力を背景にして製品多様化戦略をとってきた多くの日本企業は, 戦略の変換を強いられている。

経団連は“戦略的な国際標準化の推進に関する提言”を 2004 年に公表し, その中で国際標準化の必要性を明らかにしている。政府の知的財産戦略本部は 2005 年に“知的財産推進計画 2005”を発表して, 知的財産の活用をめざした国際標準化活動の強化を指摘すると共に, 標準化活動の人材育成に言及している。同じ頃, 文部科学省科学技術政策研究所は標準化教育のレポートを発表している。

国際的には, 2006 年に International Committee on Education about Standardization (ICES) Workshop が設立されて活動を開始している。

そこで国際標準化にも多くの貢献をしてきた画像電子学会の中に国際標準化の教育/人材育成に関する研究会を設けて学会としての議論を行う場が期待されている。このトピックに関する画像電子学会での最初の議論は, 2007 年度の新企画セッションで行われ, 多くの講演者と参加者によって内容が深められた。

3. 対象分野

国際および国内の標準化活動を推進する人材育成に関する次のようなトピックを扱う。

- 標準化戦略とその推進
- 標準化活動を推進する人材育成課題 (グローバル人材育成における標準化対応, 企業の人材育成における標準化対応, 認証に求められる人材育成, システム標準に求められる人材育成)
- 教材
- 教育方法
- 国際標準化関連課題
- ICES リエゾン
- 異文化交流

4. 研究委員会構成

委員長:

黒川 利明 (SG-SSS)

コアメンバ:

栗原 史郎 (一橋大学)

池田 宏明 (JSA) -- IEC 関連

松本 充司 (早稲田大学) -- ITU 関連

上條 由紀子 (金沢工業大学)
小町 祐史 (国土舘大学) -- ISO, JIS 関連
小野 文孝 (東京工芸大学) – 符号化技術標準化関連
江藤 学 (一橋大学)
岡本 秀樹 (アズビル(株))
高橋 茂樹 (SG-SSS)
佐藤 賢治 (富士通)
平松 幸雄 (大阪工業大学) -- ITU 関連
中西 浩(大阪大学)

5. 主要活動

- 研究会開催(1~2回/年)
- 年次大会企画セッション